

1月8日 いよいよ修学旅行が始まりました。朝4時に起きると前日から心配されていた暴風雨がひどくなり、4時過ぎには暴風警報



が発令されました。慌てて旅行社に電話をすると飛行機は飛ぶとのこと。久語主任に連絡を取り、飛行機が飛ぶので出発という選択をしました。すぐさま、生徒への連絡もしていただき、大きな混乱はなく、バスの乗車にこぎつけました。丁度バスに乗るころが風雨はきつかったようですが、大きな傘を機内に持ち込めないということで、持ってきた傘を生徒

玄関にもっていき、6時に出発。たくさんの先生方に見送りをいただき、学校を後にしました。その後学校の方は、警報が解除されず臨時休校となり、始業式は明日に延期となりました。旅行団一行は、伊丹空港にも予定通りにつき、飛行機の出発を待ちました。手荷物検査場では検査が厳しくなっており、時間を要しましたが、トラブルもなく入場。30分ほど時間ができたのですが、出発を遅らせると道路事情や何かトラブルがあったときに対応できず慌てるので仕方がないかなという感じがしました。残念ながら体調不良で1名が欠席ということでしたが、残りの生徒は概ね元気に出発することができました。

飛行機が離陸する際には、大きな歓声が生徒たちから上がり、周りのお客様にとってはうるさかったかなと思っています。また、気流の関係で途中かなり揺れもありましたが、予定より早く新千歳空港に到着。ここで旅行会社の3名の方々と現地で合流された看護師の方を紹介してバスに乗り込みました。



第一観光ポイントの札幌に向かいました。テレビ塔をバックにクラス写真を撮り、その後班別行動になります。



特に体調を崩す者もなくみんな笑顔で写真に収まったようです。写真を撮ったクラスから三々五々昼食に向かいました。私たち教員はラーメン横丁を目指しました。所狭しと並ぶラーメン店に分かれて入り、お腹を満し、集合場所であるテレビ塔に戻りました。時間が十分でなかったため早く帰ってきてテレビ塔周辺を散策しているものもいましたが、それぞれに班別行動を楽しんだようで、お土産の荷物を片手に集合し、ホテルを目指すことになりました。

途中休憩をはさみ、日も暮れた5時30分に宿舎に到着。3階で5日に送



った荷物を受け取り、一度部屋に入りスキーウエア合わせと靴合わせをしました。終了後は部屋で荷物の整理をして、19時から2クラスずつ食事をします。食事会場入り口では本日から明日の行程や注意事項がホワイトボードに書かれており、それらを確認後、保健チェックカードによる体調チェックが行われ、手を消毒してバイキング形式で食事をとっていきます。ここでホテルの方から「食べ残しをしない。必要な分だけとるように」という注意がありましたが、生徒たちは行儀よくその指示を守り、クラスごとに決められたテーブルに着き、食事をとって行きました。途中で、アナウンスが入り、何かと思ったら「国際交流タイム」ということで隣のゲレンデでインストラクターをしている外国人と一緒に食事をとってくれるというのです。各クラスに3〜4人ずつの外国人がテーブルに入り生徒たちと会話を楽しみながら食事をとってくれました。ここではそれぞれのテーブルのカラーが出ていてなかなかおもしろかったです。生徒たちもよい経験になったのではないのでしょうか。1日目最後は代表者によるミーティングです。ここではルールを守るということについて

て再度確認がされました。最初の集合から含めて時間に少し遅れる生徒がごく一部ですがいて、さらにはスマホや携帯の使用についての確認事項を守るようにという話がありました。基本的に本校生はルールは守れる方だと思いますが、少しの気の緩みや認識不足で大きな事故につながりかねないのが修学旅行です。集団で動いていることに対する認識をみんながしっかりと持って楽しい旅行に自らしていこうとするものですから明日以降に期待したいと思います。今日は朝が早かったので、明日に備えてしっかり休んで欲しいですね。以上で1日目が無事終了しました。

**1月9日。**2日目のスタートです。昨日発熱したものが出たのですが、それ以外の生徒は元気で朝食に集合しました。ゲレンデでのクラス写真の関係で1.3組から順にとっていきます。食事会場前のデスクで健康チェックを行い、昨日同様手を消毒してバイキング形式で自分の食べれるだけの食事をとり、座席でグループ毎に食事をとります。流れはスムーズに進み、午前の実習に向けた準備に取りかかりました。3階食事会場前で靴を履き替えて2階からゲレンデに向かうという変則的な動線のため、混雑が心配されましたが、うまく流れたようです。ゲレンデの天気は、時折日も差しこんでくる絶好の天気で、気温もそれほど低くなく実習にはもってこいの状況でした。

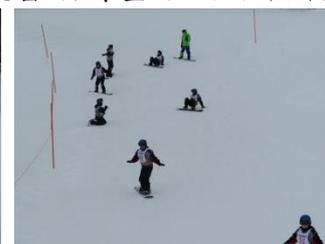


クラス写真を撮った後は、スキー学校の開校式です。団長挨拶では「指導員の支持をしっかりと聞いて普段経験できない環境での実習を楽しんでほしい」という話をしました。その後スキー学校校長からの挨拶でも同じ楽しんでほしい旨の話があり、生徒代表の6組小林く

んがしっかりと口調で挨拶してくれました。各班のインストラクターの紹介があり、開校式は終了。班毎に分かれての実習開始となりました。自己紹介をして、準備運動後にスキー班は早速板を履いて滑っていました。早い班はリフトに乗って少し傾斜のあるところへ移動していました。午前の実習の後半には連なって滑っているグループもあり、ボードの班もリフト(ゴンドラ)に乗って滑ってきている班も出るなどかなりのペースで実習は進んでいるようでした。私も高校で初めてスキーをしたのですが、思うように滑れず、ついていくのが必死だった時の事を思い出します。気持ちに余裕がなく、頭ではわかるものの傾斜がきつくなるとブレーキをかけることに必死でした。何日か続けて実習をうけると確実に上達しますので、頑張ってください。午前の実習が終わるとインストラクターと一緒に昼食です。



班毎に会話を楽しみながら昼食をとりました。午前2時間半、午後2時間の実習です。食べすぎず、でもしっかり食べてインストラクターに注意を受けながら時間を過ごしました。午後からの実習では、全ての班がリフトに乗り、開校式をしたゲレンデだけ



でなく、数あるゲレンデを十分に活用しての実習を展開していました。少しずつ技術的にも差が出てきたようですが、班のみんなで声を掛け合って頑張っていました。おそらく体力的にはかなりきつかったと思いますが、けが人もなく1日目の実習を終了しました。



実習後は、今日のメインである学年全体のレクリエーションです。旅行委員を中心に考えてきたようです。中心はクラスを代表してのクラス担任仮装大会のようです。最初はクイズ形式で、一般的なものから社高校に関

するもの、北海道に関するものやとんち、なぞなぞ等幅広いジャンルからの出題によく考えたものだと感心しました。途中からは教員チームも本気モードで正解を連発。上位に食い込む予定でしたが、参考チーム扱いで順位はなし(実際には1位だったようです)。3位までの班には商品が手渡されました(なかなかの正解率でした)。そして、先生方の仮装です。3組の石田先生はかつらを被っての登場(大泉洋という設定)。石田先生らしさが出ていました。5組の今村先生は牛の着ぐるみを着て登場。生徒たちから「かわいい〜」の声が飛んでいました。6組の川田先生も着ぐるみを着て登場。6組女子から大声援を浴びていました。4組の原田先生は風船をいくらに見立てた軍艦巻きで登場。風船が外れるハプニングにもめげず演技切りました。1組の野村先生は社高女子の制服姿で登場。恥ずかしそうに歩く姿が印象的でした。最後は7組の中島先生。ロングスカートのスケ番風の制服で登場。何とも言えない雰囲気醸し出し大声援を浴びていました。採点結果は、今村先生が優勝。5組には賞品が授与されました。その後一旦閉会となるのですが、JTBの石川さんがなぜかハイテンションで



登場。私にも役割がふられ、修学旅行中に誕生日を迎えた1組島田さんと福井さんにケーキがプレゼント、学年全体でお祝いをしてもらうというサプライズを演出。二人はろうそくの

の火を吹き消し、ホテルからもネックウォーマーをプレゼントされるなど忘れられない誕生日になったのではないのでしょうか。温かい雰囲気に包まれた後、全体集合による写真を撮りこの日の行事は終了。代表者会議は無く、全体の場で注意事項等が話されました。今日はかなり疲れたことと思います。明日の実習も元気でできますように…。

**1月10日。**3日目スタート。この日は絶好の天気にも恵まれました。青空とゲレンデの白色がとても美しく羊蹄



山がきれいに見えました。このシーズン2度目だそうです。当然のことながら生徒たちのテンションも上がります。昨日以上に気持ちよく滑れたのではないのでしょうか。おそらく技術的にもかなり向上したと思います。気持ちは大事ですからより前向きに取り組めたことでしょう。滑る滑らないは抜きにして、頂上までのゴンドラに全員が乗って景色も楽しめたのではないかと思います。

います。記憶に残る景色でした。私も午前中出会った班のインストラクターから羊蹄山をバックに班の写真を頼まれ、きれいな写真を収めることができました。午前2時間の実習もアツという間の時間だったと思います。昼食は昨日同様インストラクターと一緒に食べて、午後の実習に出かけて行きました。午後からも天気は変わら

ず、楽しめたことと思います。そして各班が開校式の場所に集合してきて最後のミーティングを行い、集合完了



したところで閉校式。スキー学校の先生方には本当に丁寧な指導をしていただきました。暴風警報の中、兵庫県を出発してきた私たちですが、昨日、本日は素晴らしい天候の下で実

習できたことは、最高の思い出になると思います。生徒代表の5組大坂谷さんがお礼のあいさつを述べ、修了証を手渡していただきました。全員で行う実習はこれで終了です。お疲れ様でした。

その後、140名あまりの生徒たちがフリー滑走に出かけて行きました。滑るコースを絞って、先生方もポイントに立って日が暮れるまでの時間を班を超えて滑ります。さらに元気のある70名あまりの生徒がナイター滑走を19時まで滑りスキーとスノーボードを堪能したように思います。思う存分に滑ることができる環境を整えていただいた先生方の想いもあってのスキー学校閉校後の実習時間。本当にありがとうございました。

ナイター滑走を実施したため夕食時間は遅めですが、明日帰る荷物、配送する荷物整理に追われながらも北海道最後の夜を楽しんだようです…。

**1月11日。修学旅行最終日。**この日は、朝早々にホテルで自宅へ送る荷物を作り、朝食後すぐに出発です。昨日夜の過ごし方について、いくつか指導すべきことが出てきたようで、スキー実習は終わりましたが気持ちが緩まないように話をさせていただきました。慌ただし荷づくりをして、トラックに配送する荷物を積み込みバスに乗り込みました。千歳空港の雪の状況が怪しいようで、小樽観光実施も危ぶまれましたが、当初の予定通りの実施を決定。小樽に向けて出発しました。この日は、雪が舞う中での出発で、先行きが心配されましたが、小樽に近づくにつれて天気も回復。到着時には素晴らしい天気になっていました。ここではまず旧クラスで写真



撮影。観光客もさほど多くなく、速やかに撮り終えることができました。その後観光に班別で出かけていきました。小樽といえばお寿司。道行く人が良い店を教えていただき、その店に向かうとすでに生徒の姿が。どうやら同じ人に聞いたようで、丼(海鮮の)を注文していました。値段はやや高めですが、ここでしか味わえないと思い、奮発したようです。

私たちも舌鼓を打ち、買い物に出かけました。道路は雪が解けて歩きやすく観光にはもってこいの状況でした。集合時間に遅れることなく一路空港を目指します。空港では、滑走路の除雪で

発着がおくれた便もあったようですが、私たちの乗る便は予定通り出発。空港で最後の買い物を楽しんだ後、飛行機に乗り込み北海道を後にしました。伊丹空港到着後、解団式。解団式では、私と、久語学年主任がまとめの挨拶。旅行委員代表も最後の挨拶をしました。今回の旅行は、暴風警報に始まり、どうなることかと思われましたが、おそらくこれほどまでにない好天気に恵まれ、最高の思い出作りができたことと思います。何度か注意が入り残念な場面もありましたが、何が良かったのか、何が注意を受けたのかをしっかりと考え、集団での行動や今後の生活に活かしてほしいと思います。同時に、生徒には旅行に行かせてくれた保護者の皆様への感謝や、旅行でお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、自分たちも周りの方々を喜ばせることができる人間になってほしいと伝えました。学校に戻ると多くの先生方が保護者の迎いの車の整理に当たっていただいております。学校あげての行事に休みの日に出てきていただいた先生方にも感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。記念すべき「校長室から50号」は修学旅行号となりましたが、多くの先生方、保護者の皆さま、旅行社や、スキー学校、ホテルの方々、看護師のご協力で今回の素晴らしい修学旅行になりましたこと重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。以上日記形式での報告でした。